

令和5年度

北谷町行政懇談会答弁書

砂 辺 区

令和5年度北谷町行政懇談会 質問及び答弁一覧

	行政区	質問項目	質問等要旨	答弁	担当課
1	砂辺区	令和3年度の質問書10-1について (質問者：砂辺区民)	検討された結果、対策をお伺いします。	町民農園付近の冠水は、台風襲来と大潮が重なった場合の満潮時に発生しております。町としましては、対策の検討にあたり必要な事前調査として、台風襲来時と大潮の時期が重なる場合や大雨が発生する場合など、その都度現地パトロールを行い、冠水状況の実態把握に努めているところであります。	土木課
2	砂辺区	令和3年度の質問書10-2について (質問者：砂辺区民)	沖縄県との協議、調整された結果をお伺いします。	令和3年度時に質問をいただいたときに、宮城解体の裏側にある砂辺北側の海岸線が高潮により浸食されていることへの対策等について、沖縄県に問い合わせをしたところ、海岸の背後に家屋や事業所及び保全施設があつてそれらが被害を受けている場合は対策可能であるが、そうではない(現地には民家等がない)ため対策は困難との回答を受けております。前回の県への意見照会から新たな状況の変化等があつた場合には、県へ報告と協議を行うことで認識を共有しております。	土木課
3	砂辺区	令和3年度の質問書10-6について (質問者：砂辺区民)	検討された結果をお伺いします。	浜屋そばから北側の海岸沿いへの防犯カメラの設置については、現時点では他の町道と同様、道路管理上、特段必要と考えておりません。	土木課
4	砂辺区	米無人偵察機「MQ-9」嘉手納基地での運用に関する飛行経路及び安全性について (質問者：砂辺区民)	米無人偵察機「MQ-9」嘉手納基地での運用に関する飛行経路及び安全性について北谷町が現状把握する内容の説明を求めます。	本町では、令和5年10月6日に沖縄防衛局から米軍無人機の説明を受け、同年10月30日には三連協から沖縄防衛局へ米軍無人機に関する質問書を送付しており、同年11月9日には沖縄防衛局から回答がきております。回答については北谷町のホームページに掲載しておりますのでご参照ください。 米軍無人機の飛行経路及び安全性についてですが、飛行経路については米軍無人機は離着陸時又は運行上特に必要がない限り、住宅密集地を極力回避して飛行する形で運用するほか、基本的に離陸後速やかに洋上に進出するとの回答がありました。また、米軍無人機の事故・事案に伴う死傷者はこれまで出ていないとの回答がありました。過去の事故例としては、本町のホームページに掲載している沖縄防衛局からの回答に記載されております。	基地安全対策課